

キーワード	テーマ	講義者	学科及び職階	内容
リハビリテーション	健康を維持するための運動の必要性	藤川 智彦	医療健康科学部／医療科学科 教授	ヒトの日常活動の維持には筋肉の活動が重要です。運動と健康維持には生活習慣が大切と言われます。ここでは生活習慣における筋肉の活動について説明します。ヒトや動物には必要な筋はどのようなものがあるのか？また、その筋活動のよる効果はどのようなものか？について紹介します。
リハビリテーション	骨格筋の活動を評価する	赤滝 久美	医療健康科学部／理学療法学科 教授	走ったり、跳んだり、投げたりなどの大きな身体運動に加えて、ピアノを弾く指先の細やかな動きや、顔の表情変化などの微細な動きも、全て骨に付着する骨格筋の収縮で成り立ちます。筋の機能が低下することは人の健康維持にも大きな影響を及ぼします。本講義では骨格筋働きとその機能を評価する方法について解説します。
リハビリテーション	リハビリテーションについて・理学療法について	田中 則子	医療健康科学部／理学療法学科 教授	リハビリテーションや理学療法という言葉は、最近いろいろところで聞かれるようになってきました。これらはいったいどのようなものなのでしょうか。そして、人々が健康にいいきと暮らしていくために、われわれにはどのようなことができるのでしょうか。ひとの動きや動作、そして生活に目をむけて考えてみましょう。
リハビリテーション	猫背になるとどうなるの??	羽崎 完	医療健康科学部／理学療法学科 准教授	良い姿勢とはどのような姿勢でしょうか？悪い姿勢とは・・・？悪い姿勢の代表である猫背になると、身体のあちこちにいろいろな弊害が生じます。それらの弊害をひとつずつ、機器を用いて確認していきます。
リハビリテーション	介助のバイオメカ	越野 八重美	医療健康科学部／理学療法学科 准教授	人の動作を介助する際に、ただ持ち上げるだけでは介助者も介助される側も身体を痛めることがあります。人の動き方を分析し、それに沿って動かし行くことで安全で安心な介助ができます。それらについて解説します。
リハビリテーション	生活の動作を科学的に考えてみよう	桃井 ちひろ	医療健康科学部／理学療法学科 特任講師	私たちの生活はたくさんの動きで成り立っています。食事をする 것도、お風呂に入ることも、学校で勉強することもすべて姿勢と動きの組合せでできています。それらが当たり前に行っているのは身体の中の様々な仕組みがスムーズに働いているからです。本講義では体験を通して、私たちがどうやって日常生活の動作をしているのか理解していきます。
リハビリテーション	スポーツ選手のリハビリテーション	木村 佳記	医療健康科学部／理学療法学科 教授	スポーツ選手の怪我からの復帰には、診断、治療とともに科学的なリハビリテーションを行うことが必要です。膝の怪我を中心にリハビリテーションの内容を実演を含めて解説します。